

# 市議会だより

桜江中学校 校升本 樹希



2024.11  
No.161

明るく強く和やかな桜江中学校生(9/9撮影)

# 『ままち』を動かす あなたの声が

本年5月11日から22日にかけて市内全域の地域コミュニティ交流センターにおいて、議会報告会を行いました。

約200人の皆さまのご参加があり、ご意見を聞かせていただきました。ありがとうございました。

今後も様々な方法で、皆さまのご意見を聞かせていただきます。よろしく願います。

## 市長へ申し入れました

皆さまのご意見を広報広聴特別委員会でとりまとめ、9月30日に議長と正副委員長が市長へ申し入れました。

回答については、ホームページへの掲載などにより公表します。



### 有福温泉

公衆浴場は限界、観光時期の混雑解消を



### 波子

共同墓地への進入路の側溝に蓋設置を



### 跡市

市全体で旧跡市小の利活用の検討を



### 敬川

野犬対策はしてもらったが野良猫対策も



### 都野津

公園の立ち木やトイレの管理をしてほしい



### 二宮

青陵中への通学路である歩道の拡張を

# ご意見ありがとうございました



## 長谷

高齢者のために相乗りタクシーの利便性向上を



## 市山

人口減少が止まらないが、対策の検討は



## 川戸

旧川戸駅裏への集合住宅建設計画はどうなったのか



## 谷住郷

救急医療では担当医の不在が多く、心細い



## 川越

三江線廃止のため以前要望した市道建設再考を



## 波積

空き家に家財があり、移住希望者が来られない



## 黒松

聖地巡礼(赤瓦)と検索すると黒松が。活用を



## 都治

江津東小と江東中では部活ができない



## 浅利

風力発電の音・周波数など設置企業に対策を



## 松平

工業団地企業のためにも国道261号の整備を



## 渡津

空き家や通学路の塀の補助金増額を



## 郷田

民生委員の担い手が高齢化している



## 嘉久志

避難所の開錠の取り決めや責任体制を明確に



## 和木

老朽化が進む和木コミセンの建て替えを

掲載されているご意見は一部を抜粋したものです

皆さまの税金はこのように使われました

# 令和5年度決算 認定

新型コロナウイルス感染症への対応や、物価高騰対策を講じつつ、重要課題である人口減少対策の推進に重点を置き編成した令和5年度の執行状況を審査。

(委員長／坂手洋介 副委員長／森元健二 委員／議長・監査委員を除く全議員)

令和5年度 一般会計・特別会計の決算状況		
会計名	歳入総額	歳出総額
一般会計	179億1336万円	172億1061万円
特別会計	国民健康保険事業	30億6970万円
	国民健康保険診療所事業	128万円
	後期高齢者医療事業	8億6519万円
		8億5562万円

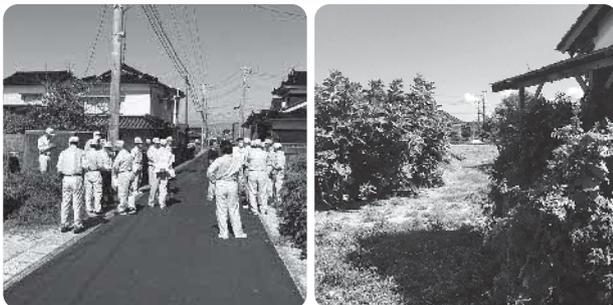
水道事業会計の決算状況		
	収入総額	支出総額
収益的収支	8億6538万円	7億8618万円
資本的収支	3億8527万円	6億4605万円

下水道事業会計の決算状況		
	収入総額	支出総額
収益的収支	8億9989万円	8億4102万円
資本的収支	9億1274万円	8億4362万円

## 都野津畑地灌漑水路撤去

**1349万円**

灌漑用水路撤去工事に伴う工損事前調査および撤去工事。



## ベビーボックスプレゼント

**724万円**

ベビーボックスをプレゼントすることで、子育て世帯との接点拡充および経済的支援を図る。

### 委員質疑

- 問** プレゼントの感想は。
- 答** 「初めての妊娠が江津で良かった」「我が子が歓迎されていると感じた」「デジタルギフトは自分で欲しいものを選ぶことができ楽しい」などがあった。

## 都市再生整備計画

# 3億6993万円

中心市街地づくりとして市営住宅西玉江団地の  
新築工事。



### 委員質疑

**問** 障がい者対応の駐車場の雨除けが整備されて  
いない理由は。

**答** 車椅子対応住宅ではないため。

## 子ども・若者総合相談窓口

# 750万円

青少年を取り巻く環境に対応する総合的支援窓  
口につなげる。また、自分のペースに合わせて自  
由に過ごす居場所を確保する。



### 委員質疑

**問** 自由に過ごせる居場所「ときまち」の利用状  
況は。

**答** 定期的なイベントなどもあり、毎回同じ人が利用  
するとは限らないため利用にばらつきがある。

## 新型コロナウイルス感染症対策

# 2279万円

物価高騰・エネルギーコスト削減対策補助事業。

- ①エネルギーコスト削減対策補助金 … 620万円
- ②高圧電気料給付金 …………… 1410万円
- ③信用保証料補助金 …………… 220万円

### 委員質疑

**問** 支援への事業者からの評価は。

**答** 特に収集はしていないが、不評はなかった。

## 通学路整備

# 1億3571万円

「江津市通学路交通安全プログラム」により、安  
全確保のため対策を実施する。



都野津町

嘉久志町

### 委員質疑

**問** 整備の進捗状況は。

**答** 令和4年度末時点で要対策箇所（土木建設課  
分）は23カ所あり令和5年度に7カ所完了。

## DX推進

# 1490万円

「スマートシティ江津推進構想」に基づき、標準化  
システム移行への調査を行った。また、窓口業務の  
実証実験を行った。

### 委員質疑

**問** 窓口業務を含め、市民の利便性が向上した具  
体例はあるか。

**答** 電子申請作成ツールは職員の各種事務作業へ  
の利用が多いが、予約やアンケート調査に使える  
ため市民の来庁や電話の手間を省くことにな  
っている。

## 災害関連緊急治山事業

# 2046万円

令和3年8月の台風被害による市山地区船坂峠  
山腹災害復旧工事。（繰越事業）



# 令和6年度 一般会計補正予算(第2号)

7月19日 専決処分



6月実施の定額減税実施に伴う定額減税調整給付金の不足分と、7月に発生した大雨災害による一般会計の補正。

予算額 **8488**万円(補正後総額177億7336万円)

## 定額減税調整給付金

**4400**万円

定額減税実施に伴う定額減税調整給付金の不足分。

## 公共土木施設災害復旧

**3027**万円

災害復旧に伴う測量設計業務委託料や復旧工事費など。

# 令和6年度 一般会計補正予算(第3号)



地域公共交通に関する事業、救急医療体制を整備するものなどを計上。また、令和6年4月の定期人事異動に伴う職員人件費の調整、令和5年度決算に伴う前年度繰越金および国県補助金返還金についても計上。

予算額 **3億7579**万円(補正後総額181億4916万円)

## 地域公共交通推進

**1225**万円

AIオンデマンド交通構築に向けた調査研究および実証実験。

## 新型コロナウイルス予防接種

**7581**万円

江津市に住民票があり、接種日時時点で65歳以上の、または厚生労働省令で定める疾病のある60歳から64歳の人へ補助。

## 救急医療ICTネットワーク整備

**4668**万円

医療情報コミュニケーションアプリ・サーバー・端末などを配備し、各機関同士で連携する仕組みの構築。

## 住宅管理

**2400**万円



市営住宅嘉戸団地解体工事

# 委員会 ピックアップ



## 総務民生委員会

### ●訪問介護の基本報酬引き下げ撤回等と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める意見書提出(請願)

訪問介護事業の基本報酬引き下げを撤回し、移動時間などに応じた引き上げを行うとともに、国庫負担割合の引き上げで財源を確保し、介護労働者の大幅な処遇改善ができるよう介護報酬全体を引き上げる再改定を早期実施を政府へ求めるもの

### ●地方財政の充実・強化を求める意見書提出(請願)

令和7年度の政府予算・地方財政の検討にあたり、賃上げ基調に相応する人件費の確保まで含めた地方財源の実現を政府へ求めるもの

委員質疑

問

臨時財政対策債に頼らないとなっているが、すでに頼っていないのではないか。

答

年々、減少はしているが、令和5年度も臨時財政対策債は発行している。

## 建設経済委員会

### ●「ごうつ地域応援券」第4回目の実施(陳情)

市内の消費行動を下支えし、経済活動を活性化させるため「ごうつ地域応援券」第4回目の早期実施を求めるもの

委員質疑

問

令和6年度の交付金などの財源はどうなっているか。

答

令和6年度は、第3回ごうつ地域応援券までで活用した財源はない。

### ●子ども医療費助成条例(一部改正)

小学生から18歳までの医療費の無償化および紙の健康保険証廃止に伴い、保険証提示に代わる手続きについて改正するもの

委員質疑

問

無償化で年間どれくらいの支出増になるのか。

答

700万～800万円の増になるので、総額1500万円の支出を見込んでいる。

# 「議長・副議長不信任案」提出

9月定例会最終日の26日、議員7人により「議長不信任案」および「副議長不信任案」が提出されました。

反対討論および賛成討論がなされ、採決の結果、否決されました。

本議会は、今後も引き続き、現体制で議会運営を進めていくことになりました。



## 議長不信任提案理由(要旨)

6月25日、議長に対し「議長による議員の発言内容の制限については規則に従い実施すること」「速やかに地域医療対策特別委員会の委員を選任すること」「地域医療対策特別委員会の議事の整理・秩序保持に関して仲裁すること」の3項目の申し入れがなされた。9月までのやり取りを通じ、一部進展もあったものの地域医療対策特別委員会については進展が見られなかった。議長としての調整能力や中立公正性が欠如し、適切な議会運営ができていないことから信任しない。

### 反対 坂手 洋介

申し入れの中に特別委員の選任があるが、議長の思いは議員の合意の元に、意欲を持って取り組む方の選任を行うことを目的として、各所へ調整を図られ、今議会において、選任されている。

特別委員会の議事の運営および資料の取り扱いについては関係者に対し話し合いを行い、委員長に対し、適切に助言・指導を行っていることを認識しており議長の職務に関して適切に対応されているため反対。

### 反対 河野 正行

議長は令和4年6月に就任されて以来、議会の運営や市議会の代表として様々な会議に出席し、役割を十分に果たしている。いつも穏やかに対応され、申し入れ書提出の際にも丁寧に、その都度、文書で回答し、不信任決議案の内容については当てはまらないと考え、また、これから議員定数や報酬の審査などを議長のもとですみやかに進めていく必要があると考え反対。

### 賛成 植田 好雄

特別委員会の事前質疑回答は、本市および済生会病院も把握したものでなく、虚偽の公文書は重大な問題。また、議長として委員選任の責務を果たさず調整を怠った。さらに、議員の発言を注意せず禁止することが度々あった。問題の事前質疑回答は「誤解される可能性があり、議長の指導で取り消す」との発言は、虚偽の公文書を作成した責任、反省、再発防止もなく「数の力」で「うわべを取り繕う」整理がなされ、適切な指導もできていない。議長は、党派や会派に関わらず中立公平が求められるができておらず、不信任に値すると考え賛成。

### 賛成 多田 伸治

議長は、副議長による公文書捏造について、責任の所在を明らかにしないまま、所属会派の数の力で問題の文書を取り消させた。また、特別委員会の委員選任では、所属会派の都合を優先し、他会派との調整もせず強引に決定した。加えて、規則に則らず議員の質問を止めたりもしている。調整能力や中立公正性が欠如し、論理的な説明もできない議長の下では、本来あるべき議会運営は困難であり、不信任決議案を可決すべきであり賛成。

否決

## 副議長不信任提案理由(要旨)

令和5年11月に開催された、副議長自ら委員長を務める地域医療対策特別委員会協議会において「事前質疑に対する回答(委員長、執行部、済生会江津総合病院より)」と題した資料が配布された。この回答内容について、市議会一般質問で江津市や済生会江津総合病院両者とも把握していないと答弁があった。その後、回答は委員長がすべて記載したものであると判明し、委員から回答の整理を申し出たが対応がなかった。虚偽を記載したことへの謝罪と整理がなく、議会の混乱を招いたことから信任しない。

### 反対 坂手 洋介

まず、副議長の職務と委員長の職務を混同することなく適切な判断をする必要があると考える。  
次に、副議長の職務に対し特段の問題があるとは思えず、現在も副議長の職務を十分に果たしていると考え。  
また、不信任決議案にある委員長として不十分だとされることについては、議長による助言・指導を踏まえ適切に対応されていることから反対。

### 反対 河野 正行

副議長は令和4年6月に就任され、議長の代理や諸会議への出席などに積極的に務められ、副議長不信任決議案の特別委員会の問題についても、委員長として済生会江津総合病院がより良い病院になってもらいたいという気持ちからのものであり、本市初の女性副議長として、女性の感性をより発揮できる市議会をめざし、頑張っていたいただきたいため反対。

### 賛成 植田 圭介

今回の決議案の意義は、いち早く正常な議会運営に戻すよう求めるもの。問題の本質は、副議長がルールを逸脱していることを認識せず、誤りが明らかになっても放置し、指摘を受けてもお応じない対応。議会は、多様な意見を出し合い議論することで市民の福祉を向上させることを追求する合議制機関であり、その実現には、まずもって議会のルールを守る正常な議会運営が前提となる。しかし、副議長は今も自己正当化し誤りを認めない。このことは議会の根幹を揺るがす危険な状況であり、市民の大きな不利益になるため賛成。

### 賛成 多田 伸治

副議長が委員長として特別委員会へ提示した文書は、市執行部の答弁から、捏造された公文書なのは明らか。しかも、他の議員の申し入れを受けた議長による指導まで問題意識がなく「誤解を招く文書」と読む者に責任を負わせて捏造への謝罪もせず、所属会派の数の力で文書を取り消したが、捏造の経緯の説明もなし。そのような議員に副議長の重責を担わせるべきではなく、本人が辞任しないなら、本決議案を可決すべきであり賛成。

## 本会議における賛成・反対意見

### 陳情第2号 | 「ごうつ地域応援券」第4回目の実施に関する陳情

#### 反対 坂手 洋介

ごうつ地域応援券についてはこれまで3回実施されてきた。これまでの3回は効果的であったという意見もあり、施策の選択肢としては理解できる。しかし、これまでと同様に「地域応援券」を配るのならば予算として1億2000万円以上かかり、財源の確保の見通しが立たないまま無責任に賛成することはできない。今後の国の物価高騰対策などの動向を注視し、幅広い視野を持ちながら、効果的な施策を実施していただきたいことを申し添えて反対。

#### 賛成 森川 佳英

陳情書は、市内経済の活性化のため4回目の「ごうつ地域応援券」実施を求めるもの。江津民主商工会が6月に実施した市内事業者への調査では、原材料の仕入れ価格が前年比で2~3割上昇する一方で、価格転嫁はできていない状況にあり、令和5年度の廃業数は24件に上る。地域経済の担い手である中小零細事業者の事業継続が危ぶまれており、「応援券」の財源となる国の財政支援も見込めるため陳情に賛成。

### 議案第40号 | 福祉医療費助成条例(一部改正)

#### 反対 多田 伸治

条例案は、紙の保険証が廃止になるため、福祉医療助成を受ける際に提示する医療証を、マイナ保険証へ切り替えるもの。全国保険医団体連合会の調査では、2024年5月以降のマイナ保険証のトラブルは全国7134の医療機関に上り、医療機関の9割が紙の保険証廃止の延期や中止を求めている。国民の医療を受ける権利を阻害する紙の保険証廃止に迎合すべきでないため反対。

#### 賛成 下谷 忠広

この条例改正は、令和6年12月2日より、医療保険に係る健康保険証が廃止され、マイナンバーカードと一体化されることに伴い、健康保険証の提示に代えて、オンライン資格確認などにより対応することができるようにするもの。マイナンバーカードの健康保険証利用によるメリットとして、医療機関を受診した際に、自身の薬の履歴や過去の特定健診の情報などの提供に同意すると、医師からデータに基づくより良い医療を受けられる。今回の改定では、医療証の選択の幅を拡大するもので、今後のデジタル化の推進に必要な改定であり賛成。

# 本会議における賛成・反対意見

## 議案第41号 | 子ども医療費助成条例(一部改正)

**反対** 多田 伸治

可決

条例案は、令和7年4月より18歳までの医療費負担を無償にするもので、その点には長年実施を求めてきた共産党市議団として諸手を挙げて賛成だが、同時に紙の保険証を廃止して、マイナ保険証へ切り替える内容も含まれる。マイナ保険証では、窓口負担が10割となるトラブルも生じており、無償化が意味をなさなくなる可能性もあるため、紙の保険証廃止の部分を削除すべきであり反対。

**賛成** 植田 圭介

今回の条例改正では、今まで一部自己負担のあった医療費が無償化されることから、保護者の経済的負担が軽減され、子どもの健全な育成および安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに向けさらに推進される。また、保険証の提示に代えてオンライン資格確認などにより対応することは、国の政策で保険証がマイナンバーカードに一体化されることに伴い実施するもので、サービスをスムーズに受けられるためにも必要な対応となるため賛成。

**賛成** 坂手 洋介

本条例は、医療費の一部負担を廃止し、無償化するもの。これは鳥根県が子ども医療費助成の対象を広げることに伴い、江津市においてもさらなる助成拡大ができたと考え。子育て世帯の負担軽減に対し、持続可能な財源確保を伴ったこの施策は歓迎すべきものであり、反対する理由はない。合わせて令和6年12月2日をもって医療保険にかかる健康保険証の新規・再発行が終了しマイナンバーカードと一体化されることに伴い所要の改正を行うものであり賛成。

## 議案第42号 | 国民健康保険条例(一部改正)

**反対** 多田 伸治

可決

条例案は、紙の保険証を廃止し、マイナ保険証へ移行させるもの。マイナ保険証への移行は、国民の医療を受ける権利を阻害し、医療機関にも手間や時間などの負担をかける。本市の国民健康保険のマイナ保険証でも、全国と同様のトラブルが発生しており、紙の保険証の廃止は「住民の福祉の増進」に寄与しない。一番身近な行政として住民を守る上で、紙の保険証は廃止すべきではないため反対。

**賛成** 渡辺 信明

本条例は、現在、6カ月以内となっている徴収猶予の期間を、急患などとして、保険医療機関または保険薬局を受診した被保険者に係る保険料の納付については、資力の活用が可能となるまでの期間として最長1年に限り、徴収猶予を可能とするもの、また、令和6年12月2日施行の「国民健康保険法」の改正に伴い、罰則の記載内容を改正するものであり、必要なものであることから賛成。

## 議案第46号 | 島根県後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議

**反対** 多田 伸治

可決

後期高齢者医療被保険者証を紙からマイナ保険証へ変更するもの。被保険者は高齢者であり、施設入所している場合は、施設管理者がマイナ保険証を預かることになるが、管理・使用の手間が増え、情報漏洩があった場合は処罰もされるため、全国保険医団体連合会の調査では、入所者の健康管理ができなくなると94%の施設が回答している。介護施設にも困難を押し付ける変更であるため反対。

**賛成** 河野 正行

この議案は、令和6年12月2日に変更されるマイナンバーカードと健康保険証の一体化に伴う規約の変更で必要なため賛成。

## 議案第48号 | 令和6年度 国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

**反対** 森川 佳英

可決

本市では、令和6年度の国保料を値上げしており、予算案はそれを具体化したもの。国保料の値上げは、低収入世帯や高齢者への負担増となり、生活を困難にさせる。実際、国保料の滞納世帯は年々増加している。本来は、国からの国保財政への支援を増やすこと、病気予防による医療給付費の抑制で国保料の負担軽減を図ることが求められる。国保料値上げを含む予算案には反対。

**賛成** 坂田 優美

執行部からの補正予算の提案理由は「本算定による保険料の見直しや 財政調整基金からの繰入金と 前年度繰越金の計上、職員人件費の調整など」だった。これらはいずれも、本市にとって必要な経費であるため賛成。

## 議案第50号 | 令和6年度 後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)

**反対** 森川 佳英

可決

後期高齢者医療でも、紙の保険証が廃止され、マイナ保険証へ移行する。マイナ保険証には多くの高齢者が不安を感じており、マイナンバーカードのない人も少なくない。高齢者の貧困が問題となる状況で、保険料滞納者に発行される短期保険証が廃止され、滞納者は特別な事情がない限り、窓口で医療費を全額負担することになる。住民を医療から遠ざける内容が含まれるため反対。

**賛成** 森元 健二

令和5年度の療養給付費負担金の精算における島根県後期高齢者医療広域連合からの返還金の計上やそれに伴う一般会計繰入金の減額、前年度繰越金の計上、そして、職員人件費の調整および広域連合納付金の増額などが主なものであり、事務を行う上で必要であり賛成。

# 本会議における賛成・反対意見

## 議案第53号 | 特別委員会の設置(県立高校再編に関する特別委員会)

### 反対 河野 正行

県立高校の諸問題については、総務民生委員会が所管している。鳥根県が決定した江津高校と江津工業高校の統合についても総務民生委員会で十分対応できると考える。総務民生委員会以外の所管についても、会議規則で「委員会は審査または調査のため必要があると認めるときは、分科会または小委員会を設けることができる」と規定されており、対応は十分可能と考え反対。

### 賛成 植田 圭介

市内県立高校の再編は、本市のまちづくりに大きく関わることから、その調査研究をするため提案されるもの。議会は、市民の多様な意見や専門的知見を政策に反映させることができる。県立高校再編という大きな機会に対して、議会としての機能を最大限に発揮し、市民に開かれた議会の実現および市民参加のまちづくりを推進するために、常任委員会の所管を越えて、特定の課題を集中的に審議することができる特別委員会の設置が最善の手段であると考え賛成。

否決

## 認定第1号 | 令和5年度 一般会計歳入歳出決算

### 反対 森川 佳英

総額190億円の決算だが、不用額が6億5066万円に上り、監査委員からも指摘があるように、適正かつ効率的な執行が求められる。また、基金は60億6640万円で、6億483万円の黒字であり、貧困世帯や子育て世帯・高齢者などの住民サービスや市内経済・農業の振興へ行き渡らせるべきだった。行政サービスを向上させる必要があったため決算認定に反対。

### 反対 多田 伸治

貧困世帯の状況を把握しておらず、「福祉の増進」への認識が希薄。生活交通での取り組みが不十分。民生委員の負担軽減が進んでいない。地域医療対策に5億4168万円も投入しているのに、医師・看護師の離職に歯止めをかけられない。中学生が求める道路照明の新規設置がない。住宅耐震改修が全く進んでいない。危険空き家対策は予算が足りていない。6億483万円に上る黒字があるなら、市民が豊かになる施策へ再配分すべきであり決算認定には反対。

認定

### 賛成 寺前 克宏

令和5年度の一般会計は、新型コロナウイルス感染症への対応や物価高騰対策を講じつつ、本市の最重要課題である人口減少対策を推進するための施策をはじめ、地域医療対策や「スマートシティ江津推進構想」に基づくDXの推進に重点を置き編成をされたもの。決算審査では、現地調査や資料での説明を受け、それぞれの事業は目的達成のため、いずれも適切に執行されたので賛成。

## 認定第2号 | 令和5年度 国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算

### 反対 多田 伸治

被保険者世帯の72.4%が保険料軽減を受けており、被保険者の経済的窮状が表れているが、そういった貧困世帯について状況を把握しておらず、行政として福祉の精神に欠ける。また、病気予防のがん検診受診率は令和4年度比で軒並み低下しており、保険給付費抑制の取り組みが不十分で、結果として令和6年度の保険料値上げにつながったため決算認定には反対。

### 賛成 鍛冶 恵巳子

給付などの事務や、健康づくりのための事業、委託事業では江津健康ダイヤルなどがあり、啓発活動で各種リーフレットなどを使用、検診事業では、受診率を上げる努力もきめこまやかに行った。受診率は個別に受診している方もおり、カウントできず数字として反映されないが、企業に対しても職域保健部会など機会あるごとに健康について啓発活動をされたので賛成。

認定

## 認定第4号 | 令和5年度 後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算

### 反対 森川 佳英

後期高齢者医療事業では、被保険者の68.6%が保険料軽減の対象で、深刻な高齢者の貧困が続いているが、その状況を把握できるにも関わらず、相談がなければ対応しないという冷淡な態度となっている。また、令和6年度に保険料が値上げされたが、市内の高齢者の現状を踏まえて、保険者である鳥根県後期高齢者医療広域連合へ対応を求めることをしていない。住民に一番近い行政としての責任を果たしていないため決算認定に反対。

### 賛成 渡辺 信明

本市の後期高齢者医療事業は鳥根県後期高齢者医療広域連合が運営主体となり、本市は窓口業務を担当するなど役割分担している。令和4年度と比較して大幅な差異がある経費は、総務管理費の委託料で後期高齢者医療市町村システムの更新・保守などの経費で当初予算から計画されていたものであり、おおむね予算通りの歳入・歳出となっている。また、均等割軽減についても3401人に対応するなど、適正に執行されていることから賛成。

認定

## 認定第6号 | 令和5年度 下水道会計決算

### 反対 多田 伸治

財政的に「余裕がない」とされる一般会計から2億5594万円も繰り入れて、2億8695万円もの下水道管の整備を行い、新規接続は過去5年で最小の47件に過ぎず、279万円の補助金で23基を整備した合併処理浄化槽と比較して非効率的。その下水道管整備は令和8年度まで続けるとされているが、無駄な公共事業であり、企業会計となっても経営改善が図られないため決算認定に反対。

### 賛成 森元 健二

令和5年度については、地方公営企業法適用後、最初の決算であり、このことにより本市の下水道事業の経営の「見える化」が図られている。審査においても、予算は適正に執行されていると判断し認定することに賛成。

認定

議決結果【第3回議会定例会】			森元	植田	渡辺	坂田	寺前	下谷	坂手	植田	鍛冶	多田	山根	森川	森脇	石橋	河野	藤間
議案番号	件名	議決結果	健二	圭介	信明	優美	克宏	忠広	洋介	好雄	恵子	伸治	兼三郎	佳英	悦朗	孝義	正行	義明
同意第6号	教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第7号	人権擁護委員候補者の推薦について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第5号	専決処分報告について	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第37号	工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第38号	工事請負契約の締結について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第39号	江津市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第40号	江津市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例制定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
議案第41号	江津市子ども医療費助成条例の一部を改正する条例制定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第42号	江津市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第43号	江津市手数料条例の一部を改正する条例制定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第44号	江津市営住宅管理条例の一部を改正する条例制定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第45号	江津市水道事業給水条例の一部を改正する条例制定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第46号	島根県後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第47号	令和6年度島根県江津市一般会計補正予算(第3号)を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第48号	令和6年度島根県江津市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第49号	令和6年度島根県江津市国民健康保険診療所事業特別会計補正予算(第1号)を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第50号	令和6年度島根県江津市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第51号	令和6年度島根県江津市水道事業会計補正予算(第1号)を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第52号	令和6年度島根県江津市下水道事業会計補正予算(第1号)を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第54号	財産の取得について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第1号	令和5年度島根県江津市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第2号	令和5年度島根県江津市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第3号	令和5年度島根県江津市国民健康保険診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第4号	令和5年度島根県江津市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第5号	令和5年度島根県江津市水道事業会計決算の認定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第6号	令和5年度島根県江津市下水道事業会計決算の認定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願	請願第1号 訪問介護の基本報酬引き下げ撤回等と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める意見書提出に関する請願※2	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願	請願第2号 地方財政の充実・強化を求める意見書の提出についての請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情	陳情第2号 「ごうつ地域応援券」第4回目の実施に関する陳情	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	
議員提案	議案第53号 特別委員会の設置について	否決※1	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提案	意見第5号 訪問介護の基本報酬引き下げ撤回等と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提案	意見第6号 地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提案	発議第1号 議長不信任決議案	否決※1	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提案	発議第2号 副議長不信任決議案	否決※1	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長職は表決権なし※4

除斥※3※4

- ※1 可否同数により議長裁決(地方自治法第116条第1項)
- ※2 継続審査分
- ※3 地方自治法第117条により除斥
- ※4 議長職は表決権なし
- ※5 地方自治法第106条第1項により議長の職務を行う

## 後任委員が決定していなかった「地域医療対策特別委員会」の委員が決まりました。

**委員長** 山根 兼三郎    **副委員長** 植田 圭介  
**委員** 河野 正行    多田 伸治    坂手 洋介    渡辺 信明

# 一般質問

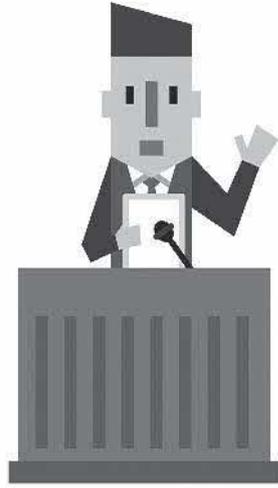
## 市議の

# Q

## 市の

# A

## &



江津市議会  
公式YouTube  
チャンネル



## 一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。原稿は質問した議員自身が、主な質問について要旨をまとめたものです。

江津市をもっと  
暮らしやすくするには、  
こうしたらいいな

※一般質問は江津市議会公式YouTubeチャンネルに動画を掲載しています。各議員の顔写真の右下の二次元コードからも動画の閲覧ができます。また、一般質問の全ての議事録は市のホームページの「市議会」→「会議録検索」からも見ることができます。(ただし掲載は次期定例会の前になります)

# Q

民生委員・児童委員の活動費の増額が必要ではないか

# A

国の基準は令和3年度に改定市は条例により定めている

# Q

活動はやれば際限がなく、線引きが難しく、活動範囲も広がっている。負担軽減に、活動範囲の見直しも必要ではないか。

# A

一律の線引きは難しい。熱心な活動で市行政へ多大な協力をいただいている。困難な問題は一人で抱えず、他委員の助言、行政や福祉機関に相談するなど、過度な負担とならないように活動していただきたい。

# Q

会議や委員間の情報共有にオンライン化も今後検討するべきでは。

# A

委員のニーズを把握し、業務負担の軽減や担い手確保に有効であれば検討対象としたい。

## 【平和行政について】

# Q

広島・長崎の被爆樹木の植樹についての検討結果は。



市内の瓦事業者

## 【瓦産業の統合問題】

# Q

県と連携した支援を。県・大田市・浜田市と連携し、関係者の意見を聞き、必要な支援策は協議する。

# A

# Q

市内25カ所の忠魂碑を、1カ所にまとめた「平和の礎」建立の検討を。

# A

統合してほしいとの要望はない。行政の関与は難しい。

# A

庁舎敷地内を検討したが、維持管理が困難で、他施設などから要望があれば調整を図りたい。



うえだ よしお  
植田 好雄



# Q

人口減のなか学校整備再編  
基本計画をどう考えるか

# A

西部統合小学校が完成後  
中部統合小学校の検討が必要



かじ えみ こ  
鍛治 恵巳子



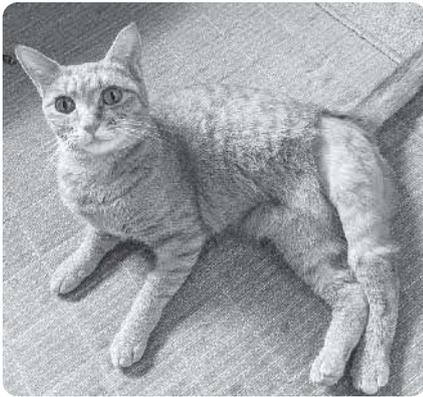
Q. 第2期学校整備再編計画の問  
題点は。

A. 現状、児童・生徒数の減少が  
あるほか、施設が老朽化し、  
安全な教育環境の確保が難  
しい。特に中学校は、生徒数  
の減少で小規模運営の学校  
もあり、再編などの検討が必  
要。

A.Q. 郷田小学校体育館の取り扱いは。  
中部統合小学校の検討を行  
うなかで慎重な対応が必要。  
老朽化の状況から、現状のま  
ま統合まで使用継続は困難  
で、統合を念頭に置き、安全  
確保のための修繕を行い、早  
期に何らかの改修を行う。

### 【猫対策】

Q. TNR(地域猫)についての研  
修に、本市でも参加を。



保護猫 ハナちゃん

A. 保健所が行うものなど、あれ  
ば出席を検討する。

Q. 県が行う去勢手術の助成制度  
の周知と、同じ保健所管内の  
浜田市と足並みをそろえた猫  
の去勢手術への助成を。

A. 令和6年度は、県が助成制度  
の規模を令和5年度より拡  
大して継続実施予定。それを  
踏まえて判断する。

# Q

子どもたちをどう育てて  
いくか共通認識を持つには

# A

次期江津市教育大綱を  
確実に周知したい



もりもと けんじ  
森元 健二



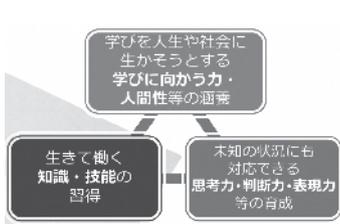
Q. 全国学力学習状況調査の結果  
について本市のとらえ方は。

A. 調査結果は、現時点での児童  
生徒の実際の姿であり、同時  
に学校で指導にあたっている  
先生の指導の結果であること  
らえ、今後の指導改善に生か  
す必要がある。本市では教科  
に関する調査はもちろん、質  
問調査において児童・生徒の  
学びに向かう気持ちや環境、  
自己有用感などに関する調  
査結果に着目し、子どもたち  
の学力を広くとらえ、総合的  
に子どもたちを育てていくこ  
とを大切にしている。

Q. 「主体的・対話的で深い学び」  
とは。

A. 変化の激しい社会になった今、  
そのような社会を生きていく  
子どもたちが時代の変化を

前向きにとらえ、主体的に課  
題に向かい、周りの人たちと  
協働しながらそれらを解決し  
ていくためには、学校での学  
びが人生や社会のあり方と  
結びつけられ、実際の生活の  
中で生きた知識・技能として  
発揮されることが求められて  
いる。学校では学ぶ子どもた  
ちを主語にして、学習すべき  
内容をどのように学んでいく  
かという学び方に目を向けて  
授業改善をしていく視点が重  
視されている。



文部科学省  
「主体的・対話的で深い学びの  
視点からの授業改善」

# Q

計画は達成できなくても「どうこう」というところではない」のか

# A

達成が前提であり  
目標達成へ取り組みを進める

# Q

3月に『江津市建築物耐震改修促進計画』は、令和7年度末での住宅耐震化率の目標を90%としているが、達成できるのか」と問うと「目標に向ける促進はする。達成できなかったから、どうこう」との答弁だった。本市策定の各計画は、その程度のものなのか。

# A

各計画は達成が前提。目的達成へ取り組みを進める。

# Q

令和7年度末の住宅耐震化率の見込みは。

# A

約75%。

# Q

過去の質問で助成拡大を求めると否定されたが、あと1年半でどう目標を達成するのか。

# A

助成見直しや啓発に努める。

# Q

『江の川中下流域マスタープラン』では、各地域で生活・生業・まちづくりの地区図面を作成するとされるが、作成したのか。

# A

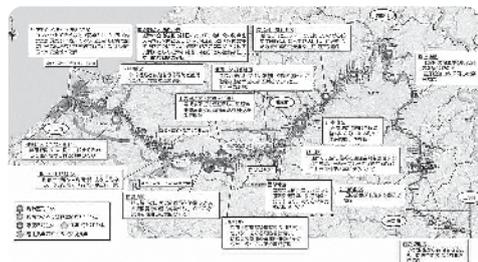
『江の川中下流域マスタープラン』に掲載している。

# Q

地域振興課は地区図面作成に参画したか。

# A

していない。



地区図面はこの1枚のみ



た だ しん じ  
多田 伸治



# Q

御幸通線拡幅整備の進捗状況は

# A

令和9年度に完了予定

# Q

東高浜地区住宅市街地総合整備事業では、第1段階の御幸通線の拡幅整備を行っているが、第2段階で道路整備を行う地域からは「雨が降ると汚水が床下に流れ込み、衛生的に問題があるため排水対策をしっかりとしてほしい」「緊急車両や介護サービスなどの事業用車両の交通が困難なため、待避所や専門駐車場を設けてほしい」との要望がある。早急に地元住民との協議を。

# A

令和3年2月以降、コロナ禍により対面での会議は開催していない。令和6年度は東高浜地区住環境整備事業推進協議会を開催し、旧市民会館の跡地利用も含め、今後の整備を協議する。

# Q

【東部地域の振興】

市東部では、地域の命綱ともいえる出生数や児童生徒の減少が著しい。また公共交通サービスも行き届いていない。政策の推進や見直しが必要ではないか。

# A

山陰道開通の影響など、喫緊の課題への対応を早急に検討するとともに、当該政策を含めた各種分野やテーマ別の事業の有機的な連携を促進し、市東部地域における地域活性化や人口減少対策も推進すべきと考える。



市道御幸通線（江津町）



やま ね けん ぎぶ ろう  
山根 兼三郎



# Q

江津市が目指す  
公共交通の将来像は

# A

市民の暮らしに寄り添う  
公共交通を目指している

# Q

持続可能な公共交通体制の構築には、運転手の処遇改善も必要と考えるが、認識は。

# A

公共交通の人材確保対策を進めるうえで、運転手の処遇改善は不可欠な要素の一つと認識。

# Q

現在の補助金は処遇改善にどれくらい使用されているか。

# A

江津市バス運行対策補助金があるが、運転手の処遇改善への金額は確認が難しい。

# Q

運転手へ直接給付などの補助金の新設はできないか。

# A

本市独自に新設は考えていない。現在、県や近隣自治体と協議の場を設けている。他自治体との連携の中で施策の方向性を包括的に検討する。



JR 江津駅前



うえだ けいすけ  
植田 圭介



### 【第4次江津市保健福祉総合計画】

本市が目指す地域共生社会とは。

全ての人々が地域・暮らし・生きがいを共につくり、高めあうことのできる社会。

重層的支援体制整備事業の状況は。

令和6年度から開始した。定期的に庁内関係課で情報共有している。

# Q

補聴器購入の費用を助成する  
制度創設を

# A

全国市長会において  
国へ制度創設を提言している

# Q

高齢者が聴覚補助器を適切に選択できる環境の整備を。

# A

環境整備を考えるうえでは、聞こえにくさを感じたら、まずは受診するといった認識を高める啓発が必要と考える。また市役所などを会場に、定期的に事業者による相談会が開催されている。

# Q

軟骨伝導イヤホンを市役所窓口に設置して必要な人に使ってもらってはどうか。

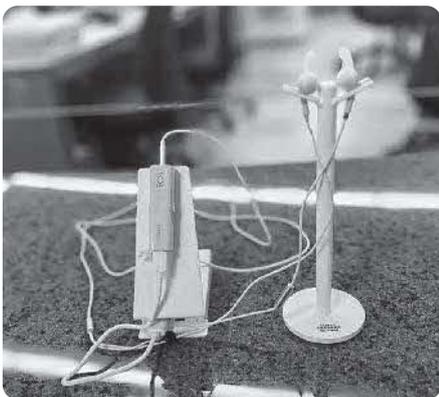
# A

提案の軟骨伝導イヤホンを含めて、本市の状況にあう機器を検討していきたい。

### 【認知症の人に寄り添った社会】

認知症に関する知識および理解を深める取り組み強化を。

認知症基本法が施行され、新たな方向性が示されている。



軟骨伝導イヤホン



しもたに ただ ひろ  
下谷 忠広



認知症の人の声を聞きながら、幅広い年齢層において理解を促進する取り組みを進めていきたい。

認知症ケア技法『ユマニチュード』の普及を。

介護現場から取り入れたいとの要望があれば、講習会の企画なども考えていきたい。

# Q

「まちの書店」の現状についての認識は

# A

書店に限らず多くの小売店が様々な工夫や努力をしている

# Q

地方公共団体は、書店に限らず、工事発注や物品購入、役務調達などにあたって、地場企業を守り、育成するという視点が必要ではないか。

# A

市場の変化によって小売業全般が厳しい経営環境にあるなか、工夫を凝らして事業を継続している事業者の取り組みを支援していくことが必要。

## 【被災地で活躍する トイレトレーラー】

### トイレトレーラー

# Q

トイレトレーラーは、停電断水時もソーラーパネルで最大1500回使用でき、普通自動車で牽引可能なほか、備え付けのシャワーで衛生を維持できる。設置後は、注水・くみ取りにより長時間稼働できるが評価は。

# A

衛生面や使い勝手、快適性な



寺前 克宏



ど優れている。また、普段使いだけでなく停電時でも使用でき、災害時には移動も可能なので、付加価値が高い。

# Q

平常時は郷田小学校のトイレとして使用が考えられる。有利な国の財源の期限が迫っており、早急に検討し導入しては。

# A

本市が所有すれば、財政負担が発生する。財源活用で導入費用は抑えられるが、課題もあるため慎重な検討が必要。



本を読もう

# Q

国に支援求め、基金活用や一般会計繰り入れで国保料値下げを

# A

国の方針や本市の財政状況から困難

# Q

「福祉の増進」として国保料引き下げを。

# A

国保料収入と島根県へ支払う納付金を差し引きし、国保料収入が余れば、国保料を引き下げることができる。そのためには、県への納付金を下げる必要がある。県への納付金額は、本市での被保険者数や被保険者にかかる医療給付費(保険で賄われる医療費)によって決まる。被保険者数の減少や医療給付費の高止まりで、納付金は非常に下がりにくい状況。メタボ健診の受診など、病气予防のための保健事業へ、被保険者に協力してもらい、医療給付費低減を図ることが、国保料引き下げにつながる。



森川 佳英



# Q

国に国保への支出を増やすよう要請すべきだし、国保の基金(行政の貯金)取り崩しや一般会計からの繰り入れもできる。国保料算定での均等割(世帯の人数により上乘せする金額)の廃止や市独自の減免制度の創設を。

# A

国が、将来的に保険料率を統一するとしており、本市独自の支援は困難。また、本市の国保基金の残高は令和5年度末で約2億3000万円と、国保運営としては潤沢ではない。



家族幸せの要は社会保障

Q 「9月は認知症月間」  
認知症対策への取り組みは

A 在宅介護支援センターなどが  
中心となり生活状況などを把握



さかた ゆうみ  
坂田 優美



Q 年々増加する認知症。早期発  
見につながる取り組みは。

A 介護認定を受けていない高齢  
者を対象に『げんき確認シ  
ート』を送付。7割の回答があ  
り、結果に応じて適宜アドバ  
イスを実施し、必要な支援に  
繋げている。

【指定暑熱避難施設】

Q 熱中症は重度になると意識障  
害が生じ、生死にかかわる。  
熱中症警戒アラートが出た回  
数は。

A 県単位での発表だが、令和3  
年度が13回、令和4年度が21  
回、令和5年度が31回、令和  
6年度は8月末日時点で34  
回と年々増加。

Q 本市でのクーリングシエ  
ルの設置予定は。

A 7月30日に市役所本庁舎と  
桜江総合センターを指定した。  
追加指定は様子を見て判断。

【県立高校2校の統合】

A Q 進捗状況や情報取得の手段は。  
県が新設校開校準備委員会  
を設置し、協議が重ねられて  
いるが内容は非公開。島根県  
教育委員会が「江津地域の今  
後の県立高校の在り方につい  
て」というWebサイトで順次  
公開中。そこから情報取得  
が可能。



江津市認知症サポーターの証

意見書を提出しました

訪問介護事業の基本報酬引き下げを撤回し、  
移動時間(あるいは距離)に応じた引き上げを行うとともに、  
国庫負担割合の引き上げを財源とした介護報酬引き上げの再改定を  
早急に行うことを求める意見書(要旨)

厚生労働省は訪問介護事業の基本報酬引き下げの理由として、訪問介護の利益率が他の介護サービスより高いことをあげているが、これはヘルパーが効率的に訪問できる高齢者の集合住宅併設型や都市部の大手事業所が利益率の「平均値」を引き上げており、実態からかけ離れている。中山間地域においてはサービス対象者が点在して移動時間がかかることから利益率は極めて低い、あるいはマイナスとなっているのが実態である。

また、訪問介護は特に人手不足が深刻であり、国庫負担割合の引き上げによる財源確保で介護報酬を引き上げ、介護人材の確保を図るべきである。よって、下記の内容を政府に求める。

1. 訪問介護事業の基本報酬引き下げを撤回し、移動時間(あるいは距離)に応じた引き上げを行うこと
2. 国庫負担割合の引き上げで財源を確保し、介護労働者の大幅な処遇改善ができるよう介護報酬全体を引き上げる再改定を早期に行うこと

お詫び

「市議会だよりNo.160」のP.15「政治倫理審査会を開催しました」において「1月15日に審査会が設置されました。」は「1月30日に審査会が設置されました。」の誤りですので、訂正し、お詫びいたします。

## 航空機部品とジルコニア触媒の 世界シェアNo.1を訪問

8月19日、市内経済の調査として、江津工業団地の【Blue Sky Frontier株式会社】と【第一稀元素化学工業株式会社】への現地視察を行いました。工場内では工程に沿って原材料や機械の説明を受け、その後研修室に移動して、会社概要・経営状況・地元雇用の現状について質疑応答を行いました。『世界に誇れる技術がここ江津市にある事を皆さんにも知っていただきたい!』

建設経済委員会では、調査をもとに、市長への政策提言を検討します。



## 江の川の治水対策を視察

7月19日、江の川流域治水対策特別委員会を開催し、江の川治水対策の状況について本市事業推進課および江の川流域治水推進室より説明を受けました。

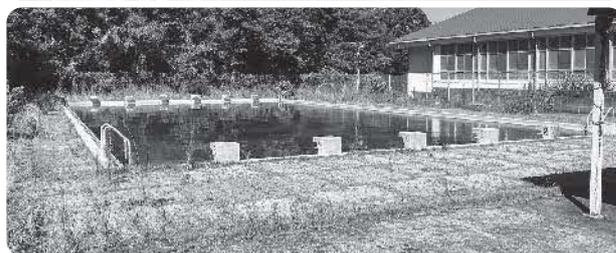
その後、5カ所(松川町森原、川越渡田・和田、谷住郷大口、川平町田野)の現地調査を行い、現在の進捗状況を確認しました。

今年の出水期も終了しましたが、議会でも、引き続き治水対策について調査していきます。



## 江津東小学校プールを調査

7月22日、老朽化に伴い、令和6年度から水泳の授業を市民プールで行うこととなった江津東小学校で総務民生委員会の現地調査を行いました。他に「仮称西部統合小学校」について教育委員会から説明がありました。



## 江の川祭に参加

8月16日、夏の一大イベント「江の川祭」が開催されました。

本年は江津市合併20周年・市制施行70周年の記念大会でした。この度は全員参加となりませんでした。議員クラブ有志14人で元気に江津市音頭パレードに参加しました。

ステージイベント・モザイクアート・石見神楽などが行われ、河川敷では灯籠流し、周年記念花火は7020発打ち上げられました。



## 意見書を提出しました

### 地方財政の充実・強化を求める意見書(要旨)

地方公共団体は、少子化・高齢化に伴う社会保障制度の整備・子育て施策・地域活性化対策・感染症対策・DX化・脱炭素化・物価高騰対策など、多岐にわたり新たな役割が求められており、より積極的な財源確保が求められる。そのため、令和7年度政府予算または地方財政の検討にあたっては、日本全体として求められている賃上げ基調に相応する人件費の確保も含め、地方財政の充実・強化を求める。

## 県内の市議会議員が集う

8月1日、市議会議長会議員研修会へ参加しました。

高齢者医療のあり方について、検査の数値を現役世代と同じ目標にするのではなく、ある程度太っているくらいが病気になったときのリスク回避につながるとされ、たくさん薬を飲ませて「あれはダメ、これもダメ」ではなく、やりたいことができるようにすることが、生活の質を向上させ医療費抑制につながるとの講演でした。



## 議会だより研修を受けて

8月22日、鳥根県市町村議会広報研修会を市議会だより編集特別委員会の委員で参加しました。

本市以外にも4市9町が参加し、各市町の議会広報について講評をいただきました。

その講評を受け、変更できるところから、第161号では変更しています。具体的には、一般質問の質問者に「ふりがな」をつけ、見出しをやわらかくしています。

ご要望がありましたら最終ページの議会事務局まで連絡をお願いします。



## 次回12月定例会

請願・陳情締切／11月22日正午まで

日	月	火	水	木	金	土
11/24	25 委員会 (議会運営) 9:30~	26 全員協議会 9:30~	27	28	29 委員会 (議会運営) 15:00~	30
12/1	2	3 本会議 10:00~	4	5 議員連絡会 9:30~	6	7
8	9 本会議 (一般質問) 10:00~	10 本会議 (一般質問) 10:00~	11 委員会 (総務民生) 9:30~	12 委員会 (建設経済) 9:30~	13 委員会 (予算決算) 9:30~	14
15	16 情報交換会 9:30~	17	18 本会議 14:00~	19	20	21

※開始時間は予定です。

**議会を傍聴しよう**  
江津市議会では皆さんの傍聴をお待ちしております。傍聴をご希望の方は、議会開催日に本庁舎2階の議会事務局までお越しください。

**議会へ参加しよう**  
市政に対して意見や要望があれば、議会へ請願・陳情することができます。請願の場合は市議会議員の紹介が必要です。お気軽にご相談ください。

### ■編集・発行責任者

議長 藤間 義明

### ■市議会だより編集特別委員会

委員長 坂田 優美

副委員長 渡辺 信明

委員 植田 圭介

委員 坂手 洋介

委員 鍛冶 恵巳子

委員 多田 伸治

委員 山根 兼三郎

市議会だよりは  
こちらから



(渡辺 信明)

また、8月16日に「江の川祭」が開催され、およそ7020発の花火が夜空を彩りました。これは、市政施行70周年・江津市合併20周年にちなんだものです。議員クラブとして、14人が江津市音頭パレードに参加しました。11月には「桜江いきいき祭り」や「こうつ秋まつり」などが開催されます。皆さまもご参加いただき、これからも一緒に江津市を盛り上げていきましょう。

## 編集後記

市議会だより編集特別委員会の委員で「議会だより」研修へ参加しました。講師の先生に、様々なご指導をいただき本号から一般質問において、質問者の氏名にふりがなをつけ、タイトルも興味を持っていただけるようなものに変更しました。これからも、少しずつ読みやすい紙面にしていきます。